

○巴拿馬運河工事 本件に關し昨年十二月米國駐劄珍田特命全權大使より外務省へ左の報告ありたり

巴拿馬運河が世界航業に對し開通せらるゝ時期に關しては工事豫定以前に進捗せりと雖も同運河の最難所たるキュレブラ切割(Culebra Cut)の地に今に至り尙ほ止まざるため當局者に於ては未だ之が豫測を避け只豫定公式開通期たる明後年一月一日までには完成せしむべきを確言するに過ぎずと雖も兎に角今後意外の支障生ぜざる限右豫定開通期より多少早く海洋船の航行を見るに至るべき形勢なるが如し蓋し該運河工事は本年に入り著々竣功し殊に去る九月二十六日には太西洋岸に於けるガタン水門(Gatun Locks)完成せるがため荷物曳船始て海面よりガタン湖まで溯航するを得十月十日には全堀割工事及各水門完成せるがため從來ガタン湖の水を遮斷し居たるガンボア堤(Gamboa dike)を破壊して全運河に浸水せしめ(當國に於ては此日を記念するため右堤防破壊用ダイナマイトは海陸長距離間電線の連絡に依り在當地白館に特に裝置せる電鈕を大統領が手づから押すに依り發火せしめたり)たるは注意を要すべき事項にして従て十月末には従業員五萬人中一萬五千人を解備せりと傳へらる尤もキュレブラ切割は地にりのため未だ土砂を以て埋まり居る場所多しと雖も過般浸水の結果地にり減少せしむるを得べき計畫にして今後は専ら浚渫船に依り右土砂を除去すべく運河開通期は一に此地にりの繼續程度如何に依り左右せらるゝ次第なりとす

運河開通の曉太平洋岸よりせる運河通航の狀況を略述せんに先づ海面と同水面なる運河を通航すること八哩にしてミラフロレス水門(Miraflores locks)(水門數二)に至り之を越ゆるときは運河水面には海面上五十五呎と爲り次に二哩航行してペドロ・ミグUEL水門(Pedro Miguel locks)(水門數一)を過ぎ海面上八十五呎の運河に入り其よりキュレブラ切割及ガタン湖を航行すること三十二哩餘に

してガタン水門(水門數三)に達し之を下るときは運河は再び海面と同水面と爲り七哩餘を通航して太西洋面に出つ而して船舶が一水門を通航するに要する時間を各々三十分と見做し運河全長五十哩餘を通航するに十時間乃至十二時間を費すへしと云ふ尙ほ運河は水門に於て東航船と西航船と各々別水路を使用せしむるため兩水路を有し又運河の兩端に於て運河地帯内に太平洋岸はバルボア(Balboa)に太西洋岸はクリスツバル(Cristobal)に通航船用として大規模の船渠、繫船場、貯炭所等を設置する計畫なり(巴拿馬コロン兩市は運河地帯外に在りて巴拿馬共和國に屬す)

斯く運河工事の進捗するに連れ米國大統領に於ては去る十一月二十一日巴拿馬運河通航船舶に施行すべき船舶積量規則を公布せり該積量規則は運河通航料算出上運河通航の内外國船舶一切に對し均しく實施せらるゝものにして其内容蘇士運河に於て實施せらるゝものに大體等しく米國船に對する當國現行積量法とは相違し居れり而して之が制定に就きては巴拿馬運河特別委員に於て當國海軍省及商務省當局者並に英國商務院、巴里蘇士運河會社、伯林獨逸船舶登錄局等の役員と商議を重ねたる由なり

○電氣工事規程の改正 本年一月四日遞信省令第一號を以て電氣工事規程中に改正を施し同日より實施せり

○生駒隧道の開通 一昨年四月より着手せる大阪軌道株式會社の生駒山隧道は本年一月三十一日未明を以て開通せり。總延長一萬一千八百八十尺、工費二百四十萬圓なり。但し隧道内部煉瓦卷工事の全部竣工するは本年四月上旬なりと云ふ

○會員及准會員消息 會員理學士新莊吉生君は歐米各國巡視中の處二月三日歸京同工學士吉井茂則君は支那へ出張仰付られ二月十二日出發

本會書記重見經誠は二月十七日死亡せり